

トップメッセージ



改定されたマテリアリティをベースに、 引き続き、長期的視点でサステナビリティ経営に 取り組みます。

当社グループは、自動車部品や新商品の供給を通じて、自動車の軽量化や安全性向上、社会課題の解決など、社会にさまざまな価値を提供しております。事業活動を進める中で、世界中の従業員やそのご家族、お客様、仕入先様、株主様、地域の皆様など、多くの方々とつながりを持っています。私たちは、これらのつながりや将来世代への影響も踏まえ、社会や自然環境に与える影響も考慮しながら取り組みを進めております。

2023年4月には「思いをこめて、あしたをつくる」をパーカスとして定め、サステナビリティの重要課題であるマテリアリティを踏まえつつ、中長期経営構想「Beyond the OCEAN」や中期経営計画「NEXUS-26」を策定しました。2025年4月には、社会や自然環境へのインパクトや、社会・環境課題が当社グループに与えるリスクと機会を踏まえ、マテリアリティを改定しております。

2020年にマテリアリティを特定してからの5年で、自社およびサプライチェーンへの指針の浸透、カーボンニュートラルや人権デューディリジエンスの取り組みの進展、サステナビリティに関する各種評価の向上など多くの成果がありました。また、社会課題を考慮した新商品の開発や、継続的な社会貢献活動の実施などを推進してまいりました。さらには、パーカス実現の基盤として、従業員エンゲージメントや健康経営の全社的な取り組みも定着しつつあります。

今後も資源循環や自然資本に関する取り組みやグローバルでの活動の浸透、サプライチェーンでのさらなる取り組みの推進など、引き続き、環境変化をいち早く捉えながら、長期的視点でサステナビリティ経営に取り組んでまいります。

代表取締役社長

小川哲史